

Ⅴ 災害時について

21 災害時を意識した近所づきあいの程度

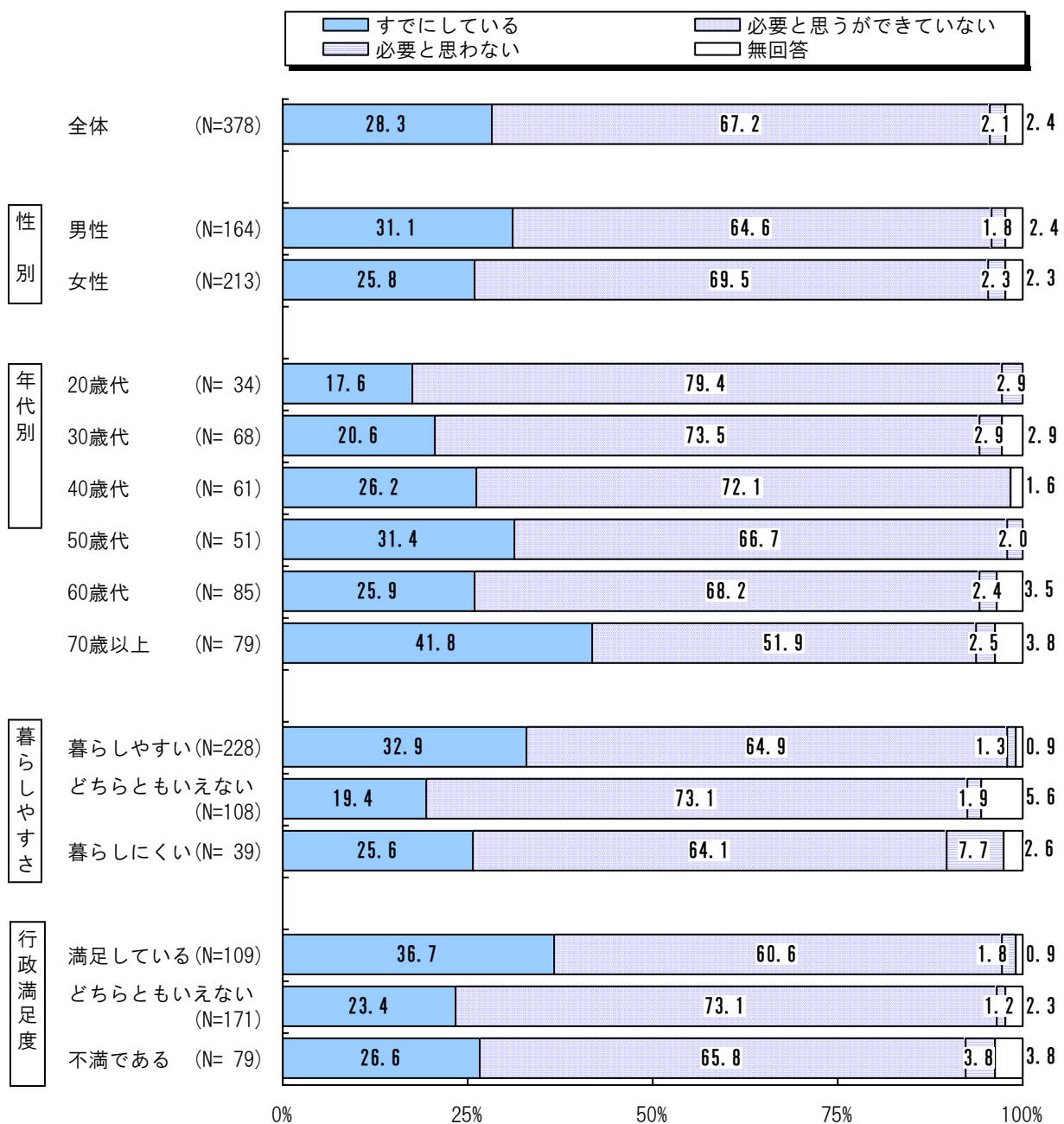
問19 あなたは、普段から災害などの発生時を意識した近所づきあいをしていますか。

(〇はひとつ)

災害時を意識した近所づきあいの程度は、「必要と思うができていない」67.2%が最も多く、次いで「すでにしている」28.3%、「必要と思わない」2.1%となっている。

年代別では、“50歳代”と“70歳以上”で「すでにしている」が多くなっている。

暮らしやすさ別では“暮らしやすい”、行政満足度別では“満足している”で「すでにしている」が多くなっている。



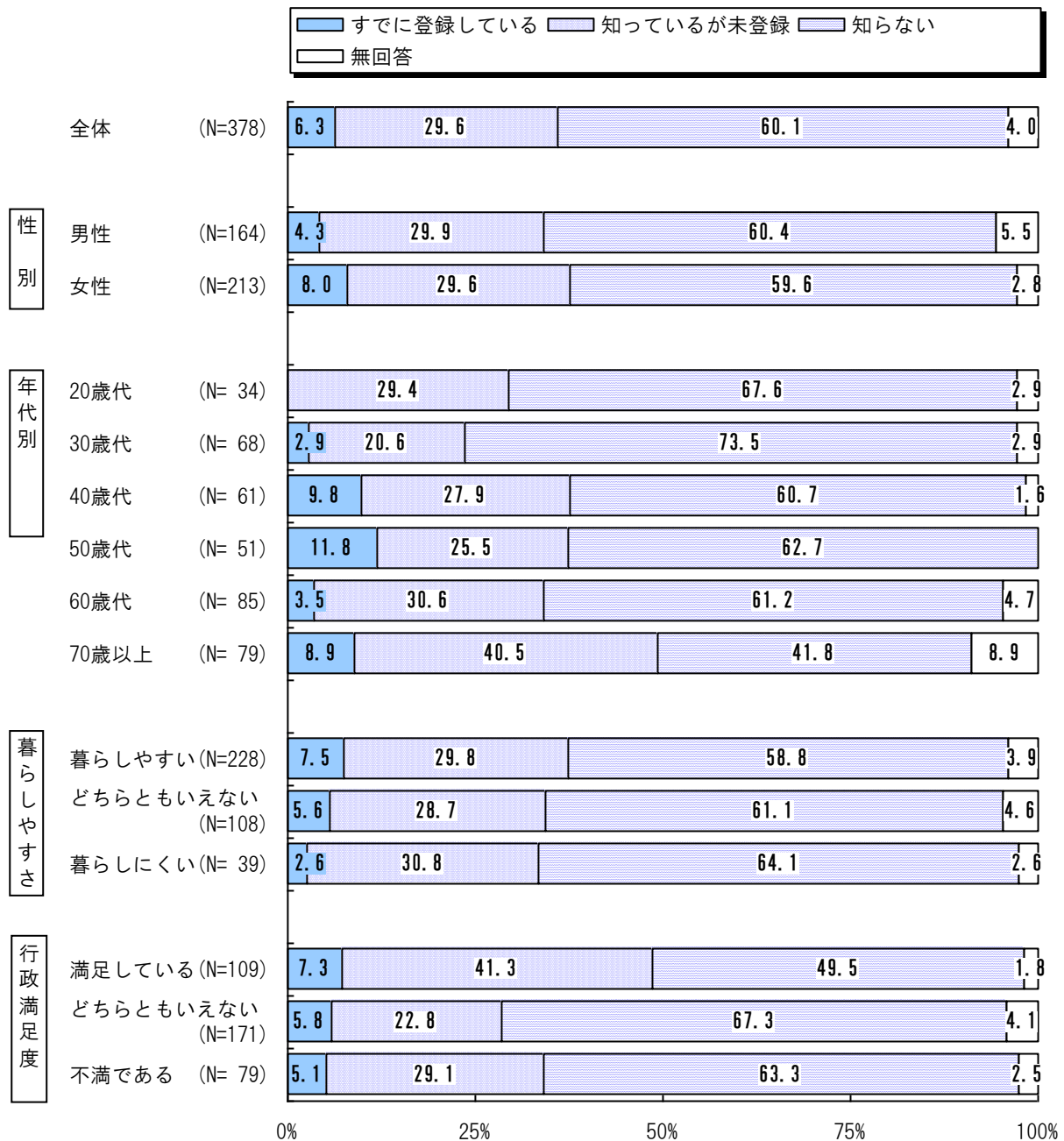
22 災害時要援護者登録事業の認知

問20 あなたは、災害時要援護者登録の事業をご存知ですか。(〇はひとつ)

災害時要援護者登録事業の認知は、「知らない」60.1%が最も多く、次いで「知っているが未登録」29.6%、「すでに登録している」6.3%となっている。

年代別では、“30歳代”で「知らない」(73.5%)が多く、4人に3人が回答している。“70歳以上”では「知っているが未登録」40.5%が他の年代よりも多くなっている。

暮らしやすさ別では“暮らしやすい”、行政満足度では“満足している”で「すでに登録している」が多くなっている。



23 要援護者情報の共有の必要性

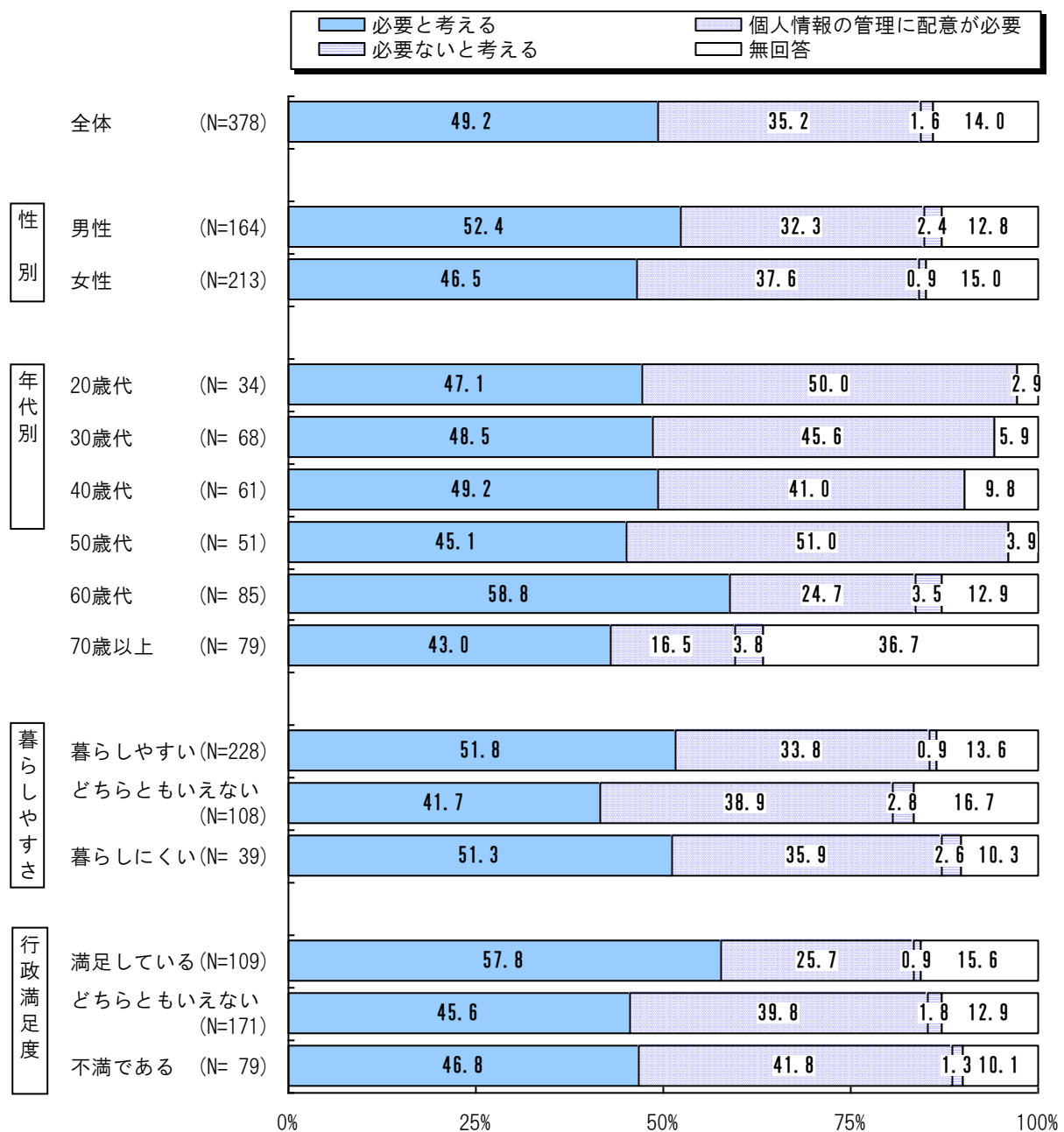
問21 あなたは、災害時などに備えて、高齢者や障害者などの要援護者の情報を市や区などの福祉や防災の組織で共有することをどう考えますか。(〇は各ひとつずつ)

要援護者情報の共有の必要性は、「必要と考える」49.2%が最も多く、次いで「個人情報の管理に配慮が必要」35.2%、「必要ないと考える」1.6%となっている。

性別では、“男性”で「必要と考える」が52.4%と半数を超えている。

年代別では、“50歳代”で「個人情報の管理に配慮が必要」が51.0%と半数を超え、“60歳代”では「必要と考える」が58.8%と半数を超えている。

行政満足度別では、“満足している”で「必要と考える」と回答した人が半数を超えている。



24 情報共有のあり方

問21で「必要と考える」「個人情報の管理に配慮が必要」と回答した方

あなたの考える情報の共有のあり方は何ですか。

情報共有のあり方は、「災害時にかぎり全ての情報を共有」43.3%が最も多く、次いで「同意した人のみの情報を共有」27.9%、「普段から全ての情報を共有」23.2%となっている。

性別では、“男性”は「普段から全ての情報を共有」30.9%が“女性”よりも多く、“女性”は「災害時にかぎり全ての情報を共有」46.9%が“男性”よりも多くなっている。

年代別では、“30歳代”で「同意した人のみの情報を共有」42.2%が多くなっている。一方、“70歳以上”は「普段から全ての情報を共有」42.6%が多く、年齢が上がるほど多い傾向がある。

